

平成21年度第4回（第11回）磯辺地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成22年1月25日（月） 9時30分～11時10分

2 場 所 磯辺地域ルーム（磯辺第一中学校内）

3 出席者

(1) 委 員 18人

欠席：関委員、亀井委員、水谷委員、安達委員、今井委員、池上委員

(2) 事務局 古舘主幹、加茂主査、伊藤主査補

(3) 傍聴者 13人

4 報告・議題

(1) 【報告】磯辺第三小学校保護者等対象説明会について

(2) 【議題1】磯辺地区の適正配置の方向性について

(3) 【議題2】次回開催日時・場所について

5 会議資料

- 磯辺地区の学校適正配置に係る「磯辺第三小学校保護者等対象説明会報告」

6 会議の概要

(1) 【報告】磯辺第三小学校保護者等対象説明会について

前回の協議会で要請があった磯辺第三小学校の保護者等を対象とした説明会を、12月5日に実施したこと及び説明の内容と参加者の意見等が報告され、質疑応答を行った。

(2) 【議題1】磯辺地区の適正配置の方向性について

「磯辺地区の小・中学校の現状及び将来像を見据え、磯辺地区全体という広い視野に立つと小・中学校の統合は必要である」という、本協議会としての理解は得られた。今後、このことを各小・中学校の保護者に対して周知し、確認のためのアンケート調査を実施することとした。

(3) 【議題2】次回開催日時・場所について

今回は、3月8日（月）10時より、磯辺地域ルームで行うこととした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶

新しい年を迎え、年頭のご挨拶を申し上げたい。私は、日本の将来は教育にあると思う。この適正配置の問題についても、自分のためではなく、将来を担う子どもたちのために考えていきたいと思っている。子どもたちの未来、それにつながる地域、そして日本の将来を見据えて検討していきたい。より一層のご協力をよろしくお願ひしたい。

(2) 報告・議題

報告 磯辺第三小学校保護者等対象説明会について

<鳥越議長>

事務局に報告をお願いします。

<事務局>

前回の協議会の要請を受けて、磯辺第三小学校保護者会会長の竹内委員と相談の上、12月5日土曜日に開催した。できるだけ多くの保護者が出席できる日ということで、磯辺第三小の「カモメフェスティバル」という行事に併せて開かせていただいた。

説明会の案内は、磯辺第三小学校の保護者への案内文の配布だけではなく、近隣自治会への回覧や保育所へのポスター掲示等を行い、未就学児の保護者にも呼びかけた。当日は竹内会長や教頭先生のおはからいで、校内放送で何回か呼び掛けていただいた。出席者は25人で、未就学児の保護者も5名ほど参加があった。

説明会では、お手元の資料の2・3ページをもとに、磯辺地区の状況や代表協議会での議論の状況等を説明し、質問応答、および意見をうかがった。

磯辺地区の状況については、これまでの協議会でも提示してきたものである。それに加え、この時点で、「高洲・高浜地区地元代表協議会」において、高浜第二小学校と高浜第三小学校とを平成24年4月に統合することが合意されていたので、そのことも報告した。ちなみに、今月18日の協議会において、新設統合校は現在の高浜第三小学校を利用することが合意された。

お手元の資料の1ページに説明会で出た質問や意見をまとめたのでご覧いただきたい。参加された方からは、統合に反対という意見というよりも、進めるに当たっての疑問点や要望が多く出された。教育水準を高めるという明確な目標を持ち、ポジティブな視点で考えた方がよいといった意見もあり、磯辺第一中学校区・磯辺第二中学校区の広い視野に立てば、小・中学校の統合はやむを得ないものと理解されたと考える。

<鳥越議長>

竹内委員より補足はあるか。

<竹内委員> (磯辺第三小学校保護者会)

特にない。

<村上委員>

統一したアンケート調査についての意見があるが、どのように捉えるのか。

<事務局>

意見を述べられた方はいたが、それに対する他の方の発言はなかった。統一したアンケート調査を実施するかどうかについては、この協議会の中で検討していただきたい。

<鳥越議長>

何か質問や意見はあるか。

(質問、意見なし。)

議題1 磯辺地区の適正配置の方向性について

<鳥越議長>

それでは議題1「磯辺地区の適正配置の方向性」について協議したい。小学校・中学校を含め、磯辺地区の学校の適正配置をどう進めていくかについて、改めて各委員から意見をいただきたい。

<磯辺第一小保護者会代表（代理）>

磯辺第一小としては、これまでの協議会で報告してきたとおりである。小学校の統合についてはシミュレーション4で行うことに70%が賛成、中学校の統合については75%が賛成であった。小・中学校とも、統合が必要であるという意見である。

<磯辺第二小父母と先生の会代表>

昨年5月に行ったアンケート調査では、小学校の統合については75%が必要であり、中学校の統合については62%が必要であるという意見である。

<竹内委員>（磯辺第三小保護者会）

統一したアンケート調査の件もあったので、説明会後のアンケート調査は実施していない。磯辺第三小としては、協議会においてシミュレーション4が支持された段階で統合の対象校ではなくなり、適正配置についての意識が薄れたように思う。磯辺第二中についても、変わらないと思っていたところに降ってわいた話という感がある。磯辺第三小・磯辺第二中の保護者の多くは現在の状況に満足感があり、「この状況を変える必要があるのか」という疑問が大きいだろう。

<石毛委員>（磯辺第四小保護者と教職員の会）

適正配置は、磯辺地区でずっと続いている問題である。少子高齢化が進むことを考えると、どこかで決めるべきだと思う。四小としては、適正配置の必要性を、小・中学校ともに感じている。

<黒澤委員>（磯辺第一中保護者会）

これまで協議会で報告してきたように、磯辺第一中と磯辺第二中を統合した方がよいという意見である。

<橋爪委員>（磯辺第二中保護者会）

前回の協議会でも申し上げたが、このまま生徒が減少するのなら統合もやむを得ないというのが大方の意見である。磯辺第二中の現状には満足しているが、磯辺地区全体の状況を考えれば、やむを得ないとも思う。先ほど話題に出た統一したアンケート調査はぜひ実施してほしい。少しでもわだかまりを少なくしていくためにも必要だろう。

<松岡委員>（高浜第二小保護者と教職員の会）

高浜第二小でも、統合の必要性については何度も説明し、意見聴取を行ってきた。今一度、統合の必要性を説明し、各学校の保護者の意見を集約することは必要かとも思う。

<高橋委員>

私は、放課後子ども教室で保護者の方ともかかわっている。磯辺第四小の保護者には、小学校を統合するのは当然であり、中学校も統合した方がよいという意見が多い。一つの例として、統合すればバスケットボール部の設置など、部活動の活性化も図れるだろう。早く統合した方がよいという歓迎ムードがあると感じている。

<近藤委員>

これまでの議論を踏まえると、小学校・中学校とも統合した方がよいという意見が多いと思うが、今後どのように決めていくのかが見えない。

<山崎委員>

中学校を先の統合した方がよいという意見が多いが、私は、切実感のある小学校を先に統合して、中学校は様子を見ていきたいという考えである。中学校の統合については、統合中学校の位置という難しい課題もある。地域の状況でいえば、もし統合中学校が磯辺第一中の位置になると、高浜3丁目の子どもたちの多くは、高浜中へ進学することになるだろう。

<尾身委員>

過日の高洲・高浜地区の協議会で高浜第二小と高浜第三小の統合が合意された。高浜6丁目としては、一貫して磯辺地区への学区変更を希望しているが、高洲・高浜地区の協議会に参加している方からは、課題もあると聞いている。未就学児を持つ保護者に意見を聞き、教育委員会へ要望することもあるだろう。学校の規模や財政的な面から考えれば、統合はやむを得ないと思う。

<大浦委員>

私は、中学校の統合を先に進めた方がよいという意見である。中学校を先に統合することにより、進学する中学校が一つとなるため、小学校の統合も円滑に行えるのではないかと。また、もし小学校の統合を先に行うと、磯辺第二中学校の小規模化が進み、好ましくない。

<藤岡委員>

この問題については、総論は賛成、各論に入ると様々な意見が出る。磯辺地区は高齢化率が高い。統合を進めることにより、地域の課題である高齢化への対応も可能である。また、現在、磯辺第一小の子どもたちの進学する中学校が2つに分かれているという問題がある。そういった問題を早く解消していきたい。

<村上委員>

この問題は、小学校の統合に端を発している。したがって、まずは小学校の統合を進めた方がよいだろう。中学校については、小学校統合の結果を踏まえて、今後の国などの教育施策等の動き、例えば4-3-2制を含めた小中一貫教育の推進や30人学級の可能性等に応じて考えていく必要があるだろう。統一アンケート調査を実施し、次年度の協議につなげた方がよい。

<鳥越議長>

各委員より、一通り意見をうかがった。意見交換を行いたい。

<磯辺第二小父母と先生の会代表>

磯辺第二小の保護者の意見で一番多かったのは、中学校の統合を先に進めるであり、次が小・中学校同時に統合するであった。

<竹内委員> (磯辺第三小保護者会)

保護者へのアンケート調査の中に、「同じ子どもが何回も統合を経験しないようにしたい」という意見がある旨を入れたが、保護者の中には「子どもはそんなに弱くないので、こだわる必要はない」という意見もあった。

<石塚委員>

私は、青少年育成委員会にかかわっているが、地域の子どもをよりよい教育環境の中で育てていきたいと思う。経験上、小学校に専科教員の配置があることによる、子どもたちに与える影響は大きいと感じている。学校の規模を保つことにより、専科教員を配置したり教職員の数を増やして様々な課題に対応したりすることができる。そういったことから考えれば、通学距離は大きな問題ではないだろう。地域の子どもたちの将来を見据えて議論してほしいと思う。

<別所委員>

磯辺第二小と磯辺第四小は専科教員の配置もなく、今後も小規模な状況が続くことに比べ、磯辺第三小については保護者に現状への満足感があると思われる。磯辺第二小と磯辺第四小にとっては切実な問題であり、地域としてのアンバランスな状況をそのままにしておくことはできないし、のんびりとはしてはられない。今年度中には方向性を見出すべきである。また、磯辺第一小の子どもたちの進学先が分かれているという問題の解消、将来的に見た磯辺第二中の小規模化を考えると、中学校の統合についても一緒に考えていくことが必要である。中学校を統合しても、通学距離については最大2km程である。他の地域に比べて恵まれており、こだわる必要はないと思う。高浜3丁目の子どもが現在の磯辺第一中に通学するとしても、3km以内ではないか。

磯辺第三小の説明会には私も顔を出したので状況は把握している。保護者へは校内放送を通して再三の案内を行ったが参加者が25名という状況であった。この状況や参加者の意見からすると、「お任せする」という意思表示と捉えてよいのではないか。そのような状況なので早く決めた方がよいと思う。

なお、統一したアンケート調査を行うことはやぶさかではないが、磯辺第一小・磯辺第二小・磯辺第四小・磯辺第一中の保護者とすると、「また、同じことを聞くのか」という雰囲気だろう。それぞれの保護者代表の方に意見を聞きたい。

<鳥越議長>

ここで、吉岡会長の意見を聞きたい。

<吉岡会長>

まず確認するが、仮に統合するとしても、統合校の位置や統合する時期等については現時点では協議事項となっておらず、まったく未定ということである。そのことを前提として提案したい。

これまでの協議を踏まえると、磯辺地区の小・中学校の統合については、協議会委員からはほぼ賛成のご意見が出されている。また、磯辺第三小の保護者等への説明会の状況によると、磯辺第三小の保護者等にも、小・中学校の統合の必要性についてはご理解いただけたのではないかと考える。したがって、本協議会としては、この地区の小・中学校を統合するという方向性については認めていただけたと理解したいがいかがか。

もしそれでよければ、事務局にお願いし、このことについての統一したお知らせと資料を作成していただき、各保護者会を通じて保護者へ周知するとともに意見を求めたいと思う。

<鳥越議長>

ただ今の吉岡会長の提案について、異議等はあるか。

<磯辺第二小父母と先生の会代表>

今の提案は、小学校・中学校とも同時に統合すると理解してよろしいか。

<村上委員>

「統合する」という方向性を確認したいということであり、統合時期や順序はこれからの議論だろう。

<竹内委員>（磯辺第三小保護者会）

統一したアンケート調査を実施してから協議会としての決定を行ってはどうか。その方が保護者や地域住民の合意を得られると思う。

<吉岡会長>

この問題は、住民のアンケート調査の結果で決めるものではないだろう。この協議会で広い視野に立って判断すべきであると考え。一番重要なのは、教育環境の公平さではないか。

<大浦委員>

協議会においては、統合に賛成の意見が多いが、統合を円滑に行うためには住民の意思の裏付けを取るという意味で、アンケート調査を行った方がよい。

<石塚委員>

協議会での協議は、統合が必要であるという方向に向かっている。アンケート調査は必要か。

<別所委員>

磯辺第一小・磯辺第二小・磯辺第四小・磯辺第一中は、「統合した方がよい」という意見でまとまっていると思うので、アンケート調査は必要ないと思う。

<竹内委員>（磯辺第三小保護者会）

磯辺第三小単独でアンケート調査を行うと、中学校についてはどうしても磯辺第一中の位置に統合されることを想定してしまう。統合の時期や統合校の位置はまったく別にして、統合が必要かどうかという内容で地域住民や保護者へのアンケート調査を行ってほしい。

<吉岡会長>

それでは、この地区の小・中学校の統合の必要性のみに絞ったアンケートを事務局に作成してもらい、磯辺第三小の保護者会に活用していただけてはどうか。アンケート調査の中で、本協議会としては、小・中学校の統合の必要性について理解が得られたことを伝え、磯辺一中区・二中区全体の視野に立って検討していただくようお願いしたい。なお、他の保護者会でも希望があれば、同じアンケートを活用していただくこともよいと思う。その結果を踏まえて、今回は具体的な議論を進めていきたい。

<高橋委員>

磯辺第四小の保護者のように、統合すべきという方向で考えている方が多い場合、アンケート調査の中に、時期や場所等の見通しがないと調査の意味がないのではないか。

<鳥越委員>

アンケート調査の件について、事務局ではどのように考えるのか。

<事務局>

協議を聞かせていただき、例えば磯辺第三小と磯辺第四小とでは、この問題に対する保護者の問題意識の段階が異なると感じる。磯辺第四小は統合を前提にしているが、磯辺第三小は統合の必要性を確認する段階であるということだろう。したがって、統一したアンケート調査を実施するとすれば、統合の時期や統合校の場所までを問うアンケート調査は難しいと思う。

<高橋委員>

この地域では、子どもたちの減少とともに、学区外の学校への進学、いわゆる私立の学校への進学も増えている。いつ統合するのか等、しっかりとしたアウトラインを示さないと保護者は戸惑い、そういった状況は続くだろうし、物事が前に進まないと思う。

<鳥越議長>

統合が合意されても、統合校の開校はかなり先になるように思う。他の地域では、どのようなプロセスで進んだのか。

<事務局>

他の地域については、まず統合の必要性を確認し、その後「いつ、どこに統合するか」を協議する形で進めている。また、統合が合意されても、新設統合校の開校には1年半から2年の準備期間が必要である。

<鳥越議長>

統一したアンケート調査を実施するとしたら、どのようにしたらよいか。

<事務局>

その前に確認であるが、小・中学校の統合の必要性について、本協議会としての理解は得られたと考えてよいか。

<鳥越議長>

小・中学校の統合の必要性の理解は図られたと思うがいかがか。

(異議なし。)

<事務局>

それでは、小・中学校の統合の必要性の確認に絞り、基本的には磯辺第三小の保護者に対して行うということではいかがか。地域住民全員に対して調査を行うことは難しい。

<近藤委員>

この問題に対して、地域住民が十分に理解していれば住民に対するアンケート調査も有効であろうが、実際にはそれは難しい。したがって、住民全員に対して調査を行う意味はないと考える。

<竹内委員> (磯辺第三小保護者会)

例えば自治会の役員レベルではどうか。

<大浦委員>

この問題については、子ども持つ親でないと、なかなか自分たちの問題だとは捉えづらい。基本的には、学校と一番関係がある小・中学生の保護者、そして未就学の子どもを持つ保護者でよいのではないか。

<鳥越議長>

保護者代表の方の意見はどうか。

<磯辺第一小保護者会代表代理>

磯辺第一小としては、統合が必要かどうかという質問ではあまり意味を持たないが、この協議会で得られた理解を踏まえ、状況をよく説明した上で統一したアンケート調査を行うのであれば、それは構わない。

<磯辺第二小父母と先生の会代表>

昨年5月に行ったアンケート調査と内容は変わらないと思うが、調査項目の設定が難しいように思う。

<竹内委員> (磯辺第三小保護者会)

アンケートの調査項目がどうにでも解釈できるような選択肢ではいけないだろう。はっきりと判断できるような選択肢にすべきである。磯辺地区の小・中学校で統一して行うことは必要だと思う。

<石毛委員> (磯辺第四小保護者と教職員の会)

協議会で統一したものを行う方向であれば、四小も実施する方向で考えたい。

<黒澤委員> (磯辺第一中保護者会)

必要であるということなら実施してもよい。統一したアンケート調査が必要であるということを理解してもらえるかどうか不安である。

<橋爪委員> (磯辺第二中保護者会)

アンケート調査を実施するのなら、磯辺地区すべての小・中学校を対象としてほしい。

<松岡委員> (高浜第二小保護者と教職員の会)

合意形成を円滑に行うためには、アンケート調査も必要だろう。質問事項を絞り、はっきりと判断できる選択肢で聞くとよい。

<事務局>

調査の対象は各小・中学校の保護者でいかがか。なぜならば、磯辺地区にある幼稚園・保育所(園)に通う子どもが磯辺地区の小・中学校に入学するとは限らないし、磯辺地区の子どもが他の地域の幼稚園や保育所(園)に通っている場合もある。また、未就学の子どもを持つ保護者には、今の小・中学校の現状が見えない、わからないということもある。そういったことから、小・中学校の状況をよく知っている保護者の方に責任を持って判断してほしいと考える。

<鳥越議長>

アンケート調査の実施は、現在の小・中学校の保護者を対象としてよいか。

<尾身委員>

未就学の子どもを持つ保護者の意向も大切だが、難しいということか。

<高橋委員>

現在、磯辺地区の幼稚園等に通う子どものほとんどは、打瀬地区から来ているという状況である。そのような状況で、幼稚園や保育園(所)に調査を依頼しても意味はないだろう。

<竹内委員> (磯辺第三小保護者会)

磯辺第三小では、来月早々、入学説明会が開催される。そこで調査してはどうか。

<事務局>

先ほども発言があったように、調査を行うためには、現在の状況やこの問題についての理解を図る必要があり、その説明も必要だろう。入学説明会には目的があり、説明内容も盛りだくさんであるため、難しいと思う。

アンケート調査は、磯辺地区の現状と将来像、そして協議会としては小・中学校の統合への理解が得られたということ踏まえ、このことを保護者に確認する旨で実施するというのでよいか。

なお、仮にアンケート調査の結果が「統合に反対」が多数となった場合はどうするのか。この協議会は、学校教育に関わり、地域を代表する方々により構成され、真摯な協議を重ねてきている。協議会では統合への理解が図られており、本来はこの協議会での合意をもって地域や保護者の方に周知し、意見を吸い上げるべきだと考えるがいかがか。

<大浦委員>

アンケート調査の際には、これまでの経緯等をしっかりと説明し、あくまで確認のための調査である旨を伝えてほしい。地域の状況についての説明も必要だろう。調査の結果を受け止め、協議会としての判断をすればよいのではないか。

<別所委員>

保護者に対しては、これまでも情報を提供しており、状況についても理解は図られていると思う。

<吉岡会長>

この協議会での協議の内容や状況を協議に出席していない方に理解してもらうのは難しいが、事務局には工夫していただきたい。

<事務局>

協議会での協議されてきた内容、小・中学校の統合に理解が得られた旨等の状況を説明できるように、内容を検討したい。

議題2 次回開催日時・場所について

<鳥越議長>

次回の開催日時は、3月8日としたいがいかがか。

<事務局>

統一したアンケート調査を実施するとなると、厳しい日程ではある。しかし、その後になると小・中学校の卒業式もあるので、委員の皆様もご多用かと思う。アンケート調査の内容を早急に検討し、3月8日に結果を報告できるように努力したい。

<鳥越議長>

よろしくをお願いしたい。今回は3月8日（月）10時より、磯辺地域ルームで開催することとする。

（反対意見なし。）

（3）連絡

<事務局>

- これまで通り、議事要旨については、案を作成し、委員の皆様を確認をいただいた上で完成版とし、教育委員会のホームページ上に公開する。各委員におかれては指定した期限までに確認して回答をお願いしたい。
- 統一したアンケート調査については、早急に検討する。会長・副会長とは事前に協議したい。調査用紙の配布と回収は学校に依頼し、集計は事務局で行うようにしたい。次回の協議会で報告できるように努力する。

（4）閉会

<吉岡会長>

真剣な、レベルの高い議論に感謝したい。磯辺には、地域への思い、子どもたちへの思いが強い方が多いと思う。さらに議論を進め、磯辺地区のより一層の向上を図りたい。今後とも、よろしくをお願いしたい。